

平成30年度活動計画

1. 平成30年度活動計画

1-1 特定非営利活動に係る事業

(1) 海域、陸域の環境及び国土保全に関わる調査・研究

・有明・八代海沿岸域環境研究会の開催

生物多様性のある八代海沿岸海域環境の俯瞰型再生研究プロジェクトの研究成果として、本年8月以降に「八代海再生のシナリオ」の出版が予定されています。当研究会では、「八代海再生のシナリオ」を基に**環境と防災の調和した地域社会づくり**への貢献に向けた活動として、「八代海再生のシナリオ」をテーマに最新の知見や情報をシリーズとして紹介・話題を提供していただき科学技術的な意見交換を深める場を開催して参ります。

(2) 環境の再生・維持及び防災に関わる地域社会支援活動

・昨年12月に設立された熊本県沿岸域再生官民連携フォーラム(注1)の事務局活動に取り組むとともに、現在、鋭意活動中の二つのプロジェクト「活動PR戦略プロジェクトチーム」、「八代海湾奥環境改善・保全シナリオづくり及び再生策検討プロジェクトチーム」に積極的に取り組み活動を推進して参ります。また、二つのPTチームの活動テーマにご賛同の正会員及び支援会員の皆様の積極的なご参加及びご支援を宜しくお願い致します。

2. その他の事業

(1) リーフレットの改訂

当NPOの広報PR資料として、当NPOの活動を紹介したリニューアル版のリーフレットを製作し、当NPOの活動を広く地域社会に広報するツールとして活用して参ります。

(2) 情報共有と発信(広報活動)

情報発信の基盤としてみらい有明・不知火のホームページ(<http://www.mirai-ay.or.jp>)のコンテンツをカテゴリー別に分かりやすく整理・改訂するとともに、日々の当NPOの取り組み活動や会員の皆様への情報発信及び各イベント参加の呼び掛けなど情報の鮮度や掲載内容の充実・向上に取り組んで参ります。

(注1)

熊本県沿岸域再生官民連携フォーラムの目的は、「有明海・八代海の美しい自然環境に囲まれ、災害に強く、元気で生き生きとした沿岸地域づくりに向け、行政、大学、研究機関、水産関係者、地域住民、企業、レジャー、NPO/NGO等の有明海・八代海に意欲を持つ多様な関係者が有するあらゆる英知を結集し、連携や協働を行うこと。また、それらの活動を通して生み出される有明海・八代海再生への多様な意見を尊重しつつ、提案として取りまとめるとともに、再生策の実施に取り組むこと」と設置要綱に示されており、本目的は、NPO法人みらい有明・不知火の目的および事業に合致するものと言えます。